

第 44 回「南山大学英语教員セミナー」概要

開催日時：2021 年 8 月 2 日 (月)～8 月 4 日 (水)、9 時 00 分～12 時 40 分

開催場所：Zoom によるオンライン開催

テーマ：英語学習/教育支援のためのテクノロジーの活用

Using Technology to Support Learning and Teaching

講師：Tony Cripps (南山大学外国語学部教授)

講師：今井 隆夫 (南山大学外国語学部教授)

講師：Sean Toland (鹿児島国際大学国際文化学部教授/元南山大学外国語学部講師)

講師：Tony Ryan (愛知教育大学教育学部准教授)

2020 年度は、コロナウイルスの蔓延により急遽、学校現場でもオンライン授業を行なわなければならないとなり、現場は大混乱する一方、新しいことに取り組めた年度でもあったのではないかと思います。44 回を迎える今年の英語教員セミナーでは、「英語学習/教育支援のためのテクノロジーの活用 (Using Technology to Support Learning and Teaching)」をテーマに、オンライン授業や通常の対面授業を有意義に行うための技術面 (how) と、オンライン授業といえども、それは方法の 1 つであり、やはり伝達したい内容 (what) が重要であるという考えから、対面授業・オンライン授業を問わず、授業に役立つ英語に関する学問知について扱い、実践的な活動も交えつつ、これからの英語教育について参加者全員で深く考える 3 日間としたいと思います。

セッション 1 (今井隆夫担当) では、コロナ禍で否応なく導入されることになった Zoom というテクノロジーを用いて、Zoom だからこそできる利点を体験いただきながら、手段 (How) が何であれ、英語学習者が興味を持てる内容を扱うことが重要であることについて受講生のみなさんに体験していただきます。具体的には、日本語と英語の捉え方の違いと言語表現の違いから、日本人学習者が間違えやすい項目を取り上げ、担当講師が研究している感覚英文法の観点からの指導法を紹介します。

セッション 2・4 (Tony Ryan 担当) では、談話分析とオーラルコミュニケーションについて扱います。セッション 2 では、英語学 (語用論) の 1 つも分野である談話分析の理論を紹介し、セッション 4 では、談話分析の理論を活用したオーラルコミュニケーションの指導法を Zoom で体験してもらいます。

セッション 3 (Tony Cripps 担当) では、「なぜテクノロジーを使うべきか？」をテーマに英語教員がテクノロジーを使って生徒の英語学習をサポートできる実践的な方法をみていきます。また、参加者は、他の受講生と各自のテクノロジー利用について情報交換する機会もあります。

セッション 5・6 (Sean Toland 担当) では、セッション 5 では、21 世紀スキルとして重要と考えられている、独創性と批判的思考力を対面及びオンライン授業環境でどのように育成

するかをテーマとする。セッション 6 では、教職課程履修者用にデザインされた PLN (Professional learning network) について、授業計画の共有のような実際の支援、共同学習などについてフォーカスし、その利点と障害について議論する。このインタラクティブなワークショップは、プロとしてのスキル向上を柔軟に向上させたい教員のみなさんに興味深いものとなると思います。

第 44 回「南山大学英語教員セミナー」日程

2021 年 8 月 2 日 (月)

開会式：9:00 ～ 9:05：牛田 千鶴 (南山大学外国語学部長)

セッション 1：9:05 ～ 10:45：講師：今井 隆夫

セッション 2：11:00～12:40：講師：Tony RYAN

2021 年 8 月 3 日 (火)

セッション 3：9:00 ～ 10:40：講師：Tony CRIPPS

セッション 4：11:00～12:40：講師：Tony RYAN

2021 年 8 月 4 日 (水)

セッション 5：9:00 ～ 10:40：講師：Sean TOLAND

セッション 6：11:00～12:40：講師：Sean TOLAND

閉会式：12:40 ～ 12:50：鈴木 達也 (南山大学副学長 (学務担当))